

# 笑顔の花

6年 女子

私はもうすぐ小学校を卒業します。大好きな小学校とはなれるのは、さみしくて涙があふれてきます。毎年進級のたびに、クラス替えで仲が良い友だちとはなれたりすると、私はみんなと仲良くできるかなと不安になります。でも、学校に行くと先生や友だちとおたがいに元気よくあいさつをすることで、みんなが笑顔になり私もほっとしてがんばろうとやる気が出ました。学校にはみんなのことを考えてはげましてくれたり、助けてくれたりしてくれる仲間がたくさんいます。私たちのためにしかつてくれたりほめてくれたりする先生もいます。自分の素直な気持ちを話すことができ、同じ気持ちを持つ仲間がどこかにいてくれる。ひとりぼっちじゃないということを学びました。六年間一緒に思い出を作ってきたみんなと、卒業する時は笑顔の花をいっぱいにして、ありがたうの気持ちを伝えたいです。

## 「大切な友だちの輪」

6年 女子

私の大切なものはいろいろありますが、まず一番は友だちです。助け合ったり、はげましあったりすることが友だちだと私は思います。

だけど、その関係がこわれていったら、と考えることがあります。もし、この友だちとの関係がくずれたら、きつと誰かがひとりぼっちになってしまう、と。ひとりぼっちになってしまった子は、誰にも相手にされずに過ごすことになると思います。

だから私は、友だちを大切にし、この「友だちの輪」の関係をくずさないようにしようと思いました。

思いやりの心を持ち、誰とでも仲良くしたいです。また、ひとりぼっちの人を見つけたら、力になりたいです。

## 「いじめ」について

6年 男子

ぼくは「いじめ」をしたことがあります。

いじめをやっていた時、ぼくは、ちよつとイライラしていました。そして、ぼくは、お父さんやお母さんなどにおこられました。そして、いじめはやめた方がいいと思いました。

理由は、いじめをしている時は、何も感じなかったけど、いじめをされている方は、すごくいやな気持ちになると思ったからです。言葉でいじめても、いやな言葉を言われた方はすごく傷つくからです。けつたり、たたいたりの暴力をするのと、ギザギザ言葉を言うのはかわらないから、いじめはやめます。ぼくは、いじめをしていた方だから、今まではそんなことに気づかなかつたです。だから、いじめをやっている人がいたら、いじめをしている方にぼくは、「いじめをしたらいかん。」と言います。これからぼくは、いじめをやめさせます。

